

20210325 道央 (中・北空知)

第3種郵便物認可

【沼田】産業用情報通信機器の販売会社「ハイテクインター」（東京）は、町内北竜の沼田工業団地に、高速大容量の第5世代（5G）移動通信システム向け通信基盤の実証試験を行う「テストセンター」を新築する。工場や農場な

ど限られた範囲内で使う「ローカル5G」に対応した試験を行う施設で、寒冷地でのデータを基に信頼性の高い製品の生産につなげる狙い。地元関係者は最先端技術のテスト地として、まちの知名度向上に期待を寄せる。（矢野旦）

ローカル5G 沼田に試験施設

ハイテクインター社 工業団地で着工



テストセンターは鉄骨平屋 約630平方メートルで、同社所有の敷地内に建設する。札幌の建築設計事務所「アトリエエブ」がデザインした。今月5Gに対応した基地局や端末

中旬に着工しており、工期は11月末までを見込む。年内にも稼働する。

試験を行うのは、ローカル

寒冷地対応の製品生産目指す

などの通信基盤。同社は低コストなシステム提供を目指しており、寒冷地での動作を可能にするという付加価値を持たせたい考えだ。

同社は1998年設立。公共交通機関や通電メーカー向け通信機器の開発と販売を行っている。沼田工業団地の分譲価格が格安だったことなどから、2010年に沼田町に進出。町内公共施設などで使う公衆無線LANの構築に携わった。現在、町内西町の事業所に19人が勤務している。

「雇用拡大にも貢献したい」

日尾紀人社長は「今後、地元経済の発展や若手の雇用拡大にも貢献したい」と意気込む。町の地域開発課長時代に、同社の誘致に関わった横山茂町長は「テストセンターには国内外から視察が訪れるという。産業界における沼田の注目度にもつながれば」と波及効果を期待している。

▲沼田工業団地に開設するハイテクインターの「テストセンター」イメージ

©北海道新聞社